



2015～16 年度  
国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン

# Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
竹石 松次

新潟 RC4 月第 3例会 (2016.4.19) No.3131

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

天田昭次

昭和二年(1927)～平成二十五年(2013)

新潟田市(本田村)で刀匠天田貞吉の長男として誕生。

本名誠一。

昭和十五年、小学校卒業と同時に上京し、日本刀鍛錬伝習所の入門、七年間修業した。昭和二十六年には、作刀第一号として日米講和条約記念刀を製作した。

平成十六年、昭次七十七歳の時に編纂した「鉄と日本刀」では

「日本刀は、ただ切れ味がよいばかりではなく、打ち合って折れず曲らぬところに大なる優秀性がある。如何に鋭利な刀でも、斬合って直ちに折れたり曲ったりするのは実用に耐えない。古来刀工の苦心は特殊の鍛錬法を発達させた。そして、実用上の価値に加え、美観は日本刀の持つ一大特色である」

と語っている。

昭和十五年、十三歳で東京の日本刀鍛錬伝習所に入門日本刀の研修に勤しんだ。この伝習所は、師匠であり、現代の刀剣を再生させた栗原彦三郎が、生涯をかけた施設で、我が国古来の刀剣が衰退するのを防ぐ目的で昭和八年に開設された。

栗原は、天田の父貞吉とも交友があり、貞吉が亡くなった二年後に墓参のため新潟を訪れ、昭次をその伝習所で修業することを勧め、父の後を継ぐことを決断した。

昭次は国会議員から刀剣復活に生涯を注いだ栗原の書生となり、松岡洋右や鮎川義介、頭山満、鈴木貫太郎等当時の実力者とも面識を得、その後の人生に大きな影響を受けた。

しかし、太平洋戦争の突入で、本来の日本刀の鍛錬から軍刀としての役割を演じなければならなくなった。戦時中の混乱期にあっては刀剣の作業も中断を余儀なくされ、昭和二十一年ふるさと新潟に戻ることになった。だが刀剣の仕事はなく、鋏、鉋、鋸、鑿といった道具作りをして生活費を稼ぐのが仕事であった。

昭和二十九年、第一回作刀技術発表会で応募したのを皮切りに次々と入選、優秀賞を連続で受賞、そして、昭和五十二年、昭和六十年、平成八年の三回にわたって、新作名

刀展で最高賞の正宗賞を受賞、平成九年、七十歳の時に国の重要無形文化財一人間国宝に指定された。

ふるさと新潟田市月岡の地に作刀所を構え、

「基礎となる鋼は、現在のものはどうしても昔のものに比べて適わないが、素晴らしい地鉄ができさえすれば焼き刃は直刀(すぐは)でも小乱れでも調和が取れている限り、こだわる必要を感じません。自分で作った鉄を素直に鍛えた結果である」

と語っている。

最後の最後まで玉鋼の研究に研鑽し、自家製鉄による鉄に拘った天田は、平成二十五年、八十五歳で亡くなるまで古名刀を手本とし、独自の鍛法(きたえほう)を習得、研究し、美術刀剣の制作に努めた。

制作した刀剣は、横綱北の潮の土俵入りの太刀、伊勢神宮式年遷宮御神宝太刀、秋篠宮悠仁親王殿下の御守刀の製作など多くの名刀を誕生させた。

刀剣に寄せる眼差しは、鍛え抜く製作所での鋭い眼光とは対象的に優しい好々爺の眼であった。日本刀とは、

「折れず、曲がらず、よく斬れる特徴を持ち、その鍛錬方法は、折り返し鍛錬によって別々に鍛えられ、炭素量が調整された、軟らかい「心鉄(しんがね)＝炭素量が少ない鉄」を硬い「皮鉄(かわがね)＝炭素量が多い鉄」で包むことで生まれる。それを更に鍛錬し“焼き入れ”を行うことで反りが加わり、美しい刀紋(はもん)が生じ「よく斬れる」という特徴がある。」

と語っている。

このような独特の工程により製作された刀剣を称して「日本刀」といわれる。その成立は平安時代中期以降といわれている。

天田が作刀にこだわった鉄について語っている。

「日本刀というのは、あくまで素材の鉄を錬りあげるので。錬って延ばしてまた錬りあげて接合する。日本刀の美しさは、鍛錬を経て鉄に含まれる不純物が各所に独特の模様を作るのです。それは木の年輪のようなもので、現代の高級な合金鋼を使っても日本刀の魅力を出すことは出来ない。ここに日本刀の日本刀たる所以があるのです。」

和鋼、柔らかい心鉄を強靱な鋼で包んだ刀剣造りにこだわって、全精力を傾注した天田昭次は、昭和二十五年六月二十六日、八十五歳の生涯を終えた。

月岡温泉のカリオン文化館、刀剣伝承館に名刀が展示されている。

### (3) ゲストの紹介

遠藤実記念館実唄館 館長 遠藤 由美子さん

遠藤実記念館実唄館 主任 志賀 由紀子さん

新日鐵住金新潟支店

小澤 詩乃さん(元新潟ローターアクト幹事)

田中 めぐみさん(新潟ローターアクト会員)

### (4) 遠藤実記念館館長 遠藤由美子さんご挨拶

### (5) ロータリーの友4月号紹介(務台昭彦広報・ 会報・雑誌委員)

### (6) 各種ご寄付の発表

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

樋熊 紀雄君 本間 彊君

小林 悟君

### (7) ニコニコボックス紹介

・竹石 松次君 遠藤実記念館の遠藤由美子さんと志賀由紀子さんをお迎えして。

・山本正治君 無事、大学入学式を終えました。今回の挨拶はピース又吉をとり上げ「スマートフォンばかりしないで本を読め」と話しました。入学制は1000人。これで全学生は4000名となりました。これからヒマとなります。お声をかけて下さい。

・石橋正利君 三男坊がお嫁さんをもらうことになり、京都へ結納に行って来ました。丁度、桜も満開で楽しんで来ました。ニコニコします。

・坂井 賢一君 結婚記念日の御花ありがとうございました。結婚35年でした。これからも明るく頑張って行きます！

・大澤 強君 4/18 昨日、結婚記念日の御花をいただきました。妻はスマホで写真を撮って保存しているようです。ありがとうございました。

### (8) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

・山本ガバナーより、熊本地震被災者の方への義捐金依頼が届きました。本日、開催されました臨時理事会におきまして、来週26日と5月10日の例会時に皆様より義捐金をお預かりすることに決定致しました。どうぞ、ご協力をお願い致します。

### (9) 会員スピーチ

「今の鉄鋼業界ってどうなっているの」

新日鐵住金(株)新潟支店長 龍田 晃一君

(10) 4月19日例会の出席率 77.17 %

会員数99名(出席免除会員9名)

出席者71名(出席免除会員3名を含む)

(2週間前メーク後 86.46 %)

5月3日 祭日

5月10日の例会予定

「横山芳郎会員のお話」

新潟ロータリークラブホームページアドレス  
<http://www.niigatarc.jp/>